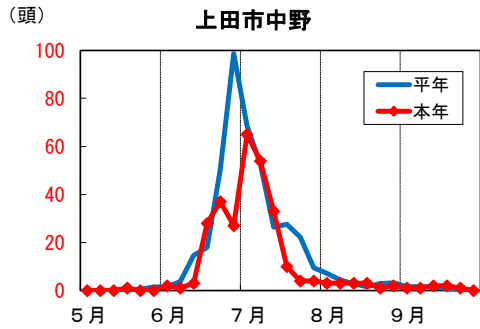
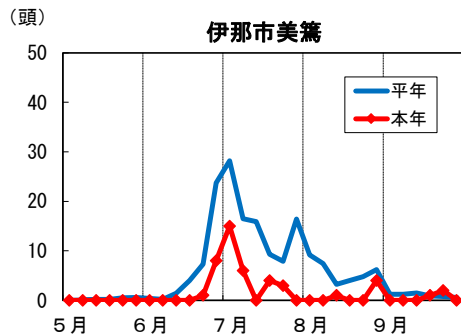


予察灯によるアカヒゲホソドリカスミカメの誘殺消長【令和6年(2024年)】

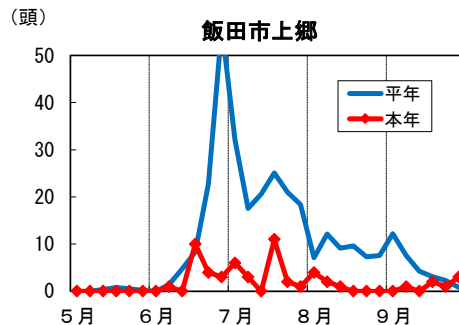


※平年：平成26年～令和5年(10年間)の平均

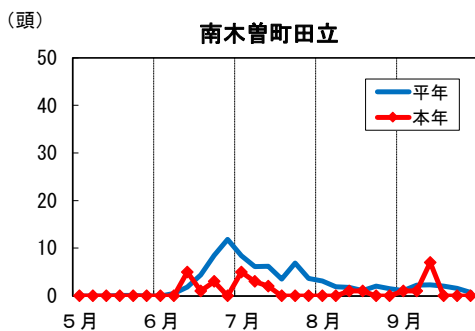
- ・上田市は、5月第4半旬に1頭が初誘殺され、以降平年並～やや少なくなりました。
- ・伊那市は、6月第5半旬に1頭が初誘殺され、以降平年と比べ少なくなりましたが、8月第6半旬以降は平年並になりました。
- ・飯田市は、6月第2半旬に1頭が初誘殺され、第4半旬は平年並みに増加しましたが、第5半旬以降は誘殺頭数は平年と比べ少なくなりました。
- ・南木曾町は、6月第3半旬に5頭が初誘殺されて平年と比べ多かったです。以降誘殺頭数は減少し平年と比べ少なくなりましたが、9月第3半旬は平年と比べやや多く誘殺されました。
- ・安曇野市は、7月第1半旬に2頭が初誘殺されて第3半旬は平年並でしたが、以降誘殺頭数は減少し平年と比べ少なくなりました。
- ・須坂市八重森は、6月第1半旬に1頭が初誘殺され、7月第1半旬は平年に比べ多くなりましたが、7月第2半旬以降は平年並になりました。
- ・須坂市小河原は、5月第3半旬に1頭が初誘殺され、6月第2半旬以降はほぼ平年並になりました。



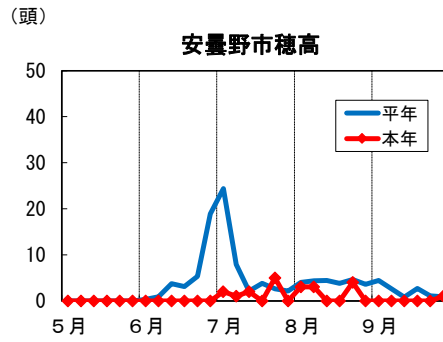
※平年：平成26年～令和5年(10年間)の平均



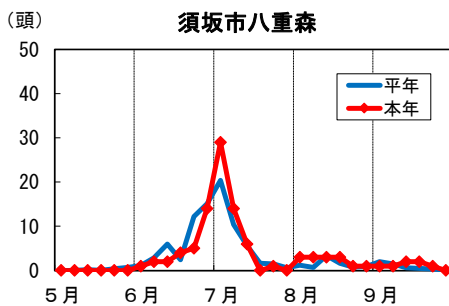
※平年：平成26年～令和5年(10年間)の平均



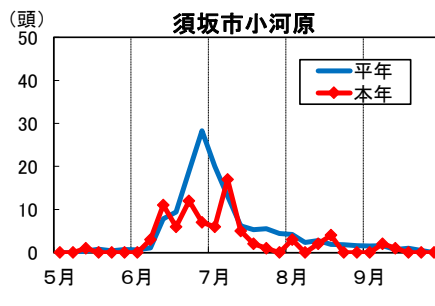
※平年：平成26年～令和5年(10年間)の平均



※平年：平成26年～令和5年(10年間)の平均



※平年：平成26年～令和5年(10年間)の平均



※平年：平成26年～令和5年(10年間)の平均

(参考)

1 発生生態

斑点米を発生させる主要害虫のアカヒゲホソドリカスミカメは水田周辺の雑草地で年4～5世代発生を繰り返します。主として7月中旬以降に発生する第2世代成虫がイネの出穂に伴い水田へ侵入、稲穂にとりついて吸汁加害します。出穂期の早い早生品種で被害が多くなる傾向にあります。上のグラフは予察灯(ライトトラップ)で捕獲された成虫数です。

2 防除時期・対策等

出穂期10日後に防除を実施し、常発地では7日～10日後に追加散布を行います。粒剤は効果の発現までに時間を要するため、3日程度早く処理します。田畦畔の草刈りは出穂2週間前までに実施し、出穂直前はカメムシを水田内に追い込む恐れがあるため行いません。